

臨床検査に「お墨付き」 国際規格を県内初取得

こどもとおとなの医療センター



国際規格の認定証を手にする
四国こどもとおとなの医療セ
ンター臨床検査科の有江技師
長—善通寺市仙遊町

四国こどもとおとなの医療センター(善通寺市仙遊町、横田一郎院長)の臨床検査科が、臨床検査に特化した国際規格「ISO15189」を取得した。県内の医療機関による同規格の取得は初めて。同センターは「質の高い臨床検査というお墨付きをもらったので、今回の認定を利用者の

信頼や安心につなげたい」としている。認定期間は4年間。

同センターは、9月27日に同規格を取得。2003年に制定された同規格は、品質保証に関する国際規格「ISO9001」、正確な分析試験結果などに関する国際規格「ISO17025」の性質を併せ持つも

のとされている。

17年9月から取得のための準備を進めていた同センターは、臨床検査に関する全ての記録を保存したり、規格に適合する手順書を作成したりして品質管理を徹底。認定を受けたことによって利用者の信頼や安心を獲得できるという。

同センターによると、認定期間中は公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)が年に1度、中間審査を行う。臨床検査科の有江啓二技師長は「1度認定されれば終わりという規格ではないため、引き続き質の高い臨床検査を提供できるように努めていきたい」と話した。